

平成28年度事業計画書

2018年問題をはじめ、超少子高齢化時代への突入、国民一人当たりの財政赤字830万円など、日本を取り巻く環境は予断を許さない厳しい状況にあります。

一方、オリンピックの東京開催を2020年に控え、その最大の課題はこの機会に地方の創生が出来るかにあります。インバウンドは予想以上のスピードで増加していますが、オリンピックを好機と捉え、いっそう交流人口を増やすことが出来れば、地域経済を活性化する近道となります。

そのためには地域独自のレガシーやポテンシャルを魅力的な文化に磨き上げなくてはなりません。幸い関西各地には多様な伝統や文化があります。政府が呼びかけている「オリンピック文化プログラム」を推進し、地域の文化力を高め、独自の創造性を発揮することが豊かな日本を創生する第一歩であります。

当協会は設立以来一貫して、文化で経済や社会を活性化すべく事業を続けてきました。平成28年度は関西・大阪の「オリンピック文化プログラム」推進を旗印に次の事業に取り組みます。

I 「交流と助成」

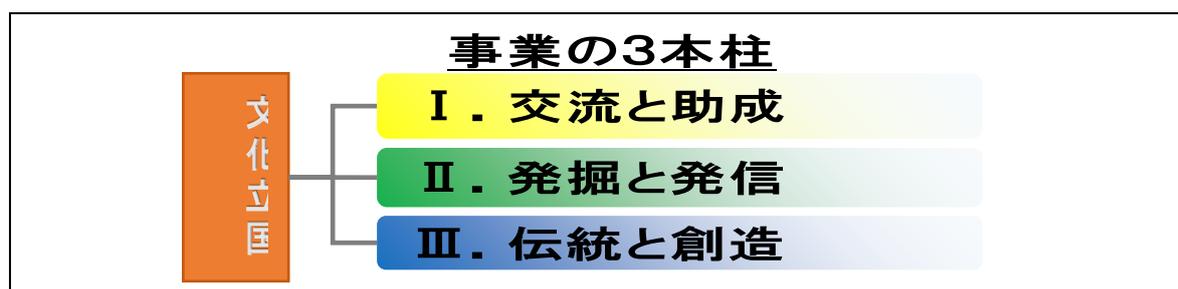
日本万国博覧会記念機構から承継した記念基金事業と、経済団体と協力して設立した民間版の文化支援組織「アーツサポート関西」の交流と助成事業、および「大阪文化祭賞」などの人材育成（アーティスト支援）事業を実施する。

II 「発掘と発信」

「大阪ブランド・コミッティ」（2004～2007年）、「はなやか関西」の流れを汲むもので、関西・大阪のポテンシャルや歴史・文化に根ざした地域の魅力を発掘し、発信を目指す。

III 「伝統と創造」

当協会が広域連携の結節点を担い、関係団体とのコラボレーションにより、新たなまちづくりを促進する。これまでの社会実験の成果を踏まえ、「水都・大阪」の推進、「大阪城フェスティバル」構想への取り組み、上方伝統文化の振興、保護・育成を行う。



I. 交流と助成

1. 「日本万国博覧会記念基金」事業（公益目的事業2）

「日本万国博覧会記念基金」の運用益の一部をもって日本万国博覧会の成功を記念するに相応しい「国際相互理解の促進に資する活動」や「文化的活動」に対して助成金を交付し、人類の進歩と調和に貢献する。

あわせて、大阪府が行う日本万国博覧会記念公園の管理運営に寄附金を拠出する。

ア. 助成事業

A. 助成分野

1) 国際相互理解の促進に資する活動

- ・ 国際文化交流、国際親善に寄与する活動
- ・ 学術、教育、社会福祉、医療及び保健衛生に関する国際的な活動
- ・ 自然の保護、その他人間環境の保全に関する国際的な活動

2) 文化的活動

- ・ 日本の伝統文化の伝承及び振興活動
- ・ 芸術及び地域文化に関する活動

B. 重点テーマ

1) 留学生交流などの「国際文化交流、国際親善に寄与する活動」

2) 文楽などの「日本の伝統文化の伝承及び振興活動」

3) ・熊本地震被災地の伝統行事（お祭り等）の維持継続を支援する活動

- ・ 熊本地震被災地で開催される芸術・文化活動

C. 平成 28 年度 助成活動

- ・ 平成 27 年度に募集、審査して交付決定した助成対象事業（助成予定総額 1 億円）への助成を行う。
- ・ 助成金交付事業の中から実地調査を行う。
- ・ 模範的な団体のノウハウ共有と、対外発信の強化を図る。
- ・ 助成金交付事業の事業完了後、報告書の提出を受け、助成金を交付する。
- ・ 助成金交付事業者からの報告書及び実地調査の内容を見て事後評価をする。

D. 平成 27 年度 助成事業の繰越

平成 27 年度助成事業のうち、事業の完了時期が平成 28 年度となる事業について事業の繰越を行う。

E. 平成 29 年度 助成対象事業の募集活動

募 集 方 法 ホームページへの掲載や関係機関への募集要項送付

募 集 説 明 会 大阪・東京会場に加え、他の地方での開催も検討。

募 集 時 期 平成 28 年 7 月～9 月

助成予定総額 92 百万円（国内外事業助成総額）

F. 平成 29 年度 助成対象事業者の選考

専門部会、審査会の開催

開 催 時 期 平成 28 年 12 月～平成 29 年 2 月

G. 平成 29 年度 助成金交付事業者の決定

決 定 時 期 平成 29 年 3 月

H. 当協会中期計画に基づく助成制度等の見直し

イ. 大阪府が設置する万博記念公園の管理運営に寄附する事業

寄附予定額 約 1.5 億円（万博記念基金運用益の 2 分の 1）

2. 「アーツサポート関西」(ASK) 事業（公益目的事業 3）

広く民間から寄附を集め、関西・大阪の文化・芸術分野で活動する団体や個人に助成することにより、優れた伝統文化の継承、新しい芸術的価値の創出を進めて関西・大阪の経済や文化の活性化に寄与するとともに、寄附文化の醸成を図る。

ア. 寄附・募金活動

アーツサポート関西の意義や寄附を必要とする助成先の声を、広く ASK のホームページやチラシ等で訴求し、市民や企業への提案や「ASK 寄附型自販機」の普及、「ポイント寄附」の促進などを図り、広く寄附を集める。

1) 近く 100 周年等の節目を迎える「周年企業」への提案活動の推進

2) 「ASK 寄附型自販機」の推進（(一社)関西経済同友会と連携）

- 3) クレジットカード等の「ポイント寄附」の推進
- 4) 「ASK サポーターズクラブ」会員継続・募集 ((一社) 関西経済同友会と連携)
- 5) 「ASK チャリティーイベント」の企画・推進

イ. 助成事業

A. 助成分野

「美術・デザイン」、「音楽」、「演劇」、「ダンス」、「映像・映画」、「伝統芸能」、「特定のジャンルにとらわれない複合的な文化・芸術活動」の7分野に助成。

B. 平成 28 年度 助成活動

1) 公募助成対象事業への助成

平成 27 年度に募集、審査して交付決定した公募助成対象事業（総額 610 万円）への助成と事業完了後の評価、確認を行う。

2) 特定型の助成

特定型個別寄金の寄附者の意向を踏まえ、助成先を公募・審査し助成を行う。

助成額 約 800 万円

C. 平成 29 年度 助成公募活動

助成対象事業の公募

募集方法 ASK ホームページへの掲載、関係先へのメール等で案内

助成予定額 約 500 万円

募集期間 平成 28 年 10 月～11 月

※ 助成予定額や助成分野は、寄附金の集まり具合に応じて決定

D. 評価・審査委員会、運営委員会の開催

文化、芸術の専門家や外部有識者によって構成される評価・審査委員会に於いて選考を行い、運営委員会で確認、理事会で決定する。

評価・審査委員会 平成 29 年 1 月

運営委員会 平成 29 年 2 月

助成金交付決定 平成 29 年 3 月

ウ. 寄附集めのための寄附文化醸成活動

助成先の活動の鑑賞会などを行い、寄附者やサポーター、アーティストとの交流を図り、寄附文化醸成を図る。

エ. 広報活動

- 1) 特定型個別寄金の寄附者の記者会見
- 2) 公募開始、助成先決定等のマスコミへの話題提供
- 3) 助成事例の紹介や新しい寄附集め方策の提案など、絶えず効果的に対外発信を続けることで、活発に活動する ASK を訴求し、寄附文化醸成に努める。

3. 人材育成（アーティスト支援）

ア. 大阪文化祭賞（公益目的事業 1）

大阪の芸術文化活動の奨励及び普及を図り、文化振興の気運を醸成することを目的とし、大阪府・大阪市とともに大阪府内で行われる公演を対象に、優れた成果をあげた個人または団体に賞（表彰状・表彰楯・副賞）を贈呈する。

主 催 大阪文化祭実行委員会

（大阪府、大阪市、（公財）関西・大阪 21 世紀協会（事務局））

贈 呈 式 平成 29 年 2 月～3 月

イ. アート・アSEMBリー（公益目的事業 1、その他事業 1）

大阪文化祭賞受賞者及びアーツサポート関西の助成を受けたアーティストをはじめ、音楽・芸術分野における優れたアーティストたちを経営者や有識者、報道関係者等に広く紹介するための発表や交流の場づくりを行う。異分野間のアーティストによるコラボレーションを含め、話題性、発信力のある事業を行う。

主 催 （公財）関西・大阪 21 世紀協会

実施時期 平成 28 年 11 月～12 月

ウ. アートストリーム 2016（公益目的事業 1）

公募選考により、さまざまなジャンルの新進気鋭のアーティストやクリエーターを幅広く発掘し、発表の場を設けるとともに、ビジネスマッチングの機会を創出することで、関西の芸術・文化の高揚を図る。「企業・

ギャラリー賞」については、テレビ局などマスメディアやギャラリーを中心にさらなる拡充を図るとともに、関西にとどまらず、アジアに向けての発信力を持つアートイベントに育てる方向で企画立案し、活動する。

主 催 アートストリーム実行委員会

〔 大阪芸術大学、大阪府、大阪市、
(公財)関西・大阪 21 世紀協会(事務局) 〕

実施時期 平成 28 年秋

II. 発掘と発信

1. シンポジウム・フォーラムの開催

文化プログラムシンポジウム in 大阪（公益目的事業 1）

地域文化発信を目的としたシンポジウムを、文化庁と共催することにより、関西圏から世界へ向けた文化発信力を向上させ地域の団結を促進するきっかけとする。

シンポジウムでは、地域の文化資源を再確認しそのコンテンツを発信するモデル構築を目指し、オリンピック、パラリンピック 2020 年東京大会へ向けた「文化プログラム」の一環として実施する。

主 催 文化庁 共催：(公財) 関西・大阪 21 世紀協会

実施日 平成 29 年 3 月 2 日（木）

場 所 国立文楽劇 場

内 容 ①オープニングアクト 人形浄瑠璃文楽「二人三番叟」
出演者：桐竹勘十郎、吉田勘彌ほか人形浄瑠璃文楽
座技芸員

②基調講演 宮田亮平（文化庁長官）

③シンポジウム

・テーマ

「2020年以降の新たな文化振興モデル構築に向けて
～文化資源の産業化と世界発信～」

・登壇者：宮田亮平（文化庁長官）

鳥井信吾（サントリーホールディングス代表取締役副会長）

榊田隆一郎（榊田酒造店代表取締役）

塩見有子（特定非営利活動法人アーツインシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]理事長）

・モデレーター：佐々木洋三（公益財団法人関西・大阪 21 世紀協会専務理事）

④クロージンプフォーマンス

・出演者：BOROほか

2. 関西和食文化のブランディング

ア. 食博 2017（公益目的事業 1）

食博覧会実行委員会、(一社)大阪外食産業協会とともに来年開催される「食博 2017」の共催者として当協会が企画、構想に参画。2020 年に 800 万人の観光集客を目指す関西にとって「食」は重要なコンテンツとなるため、「食博 2017」の成功に寄与するとともに、「食博 2017」を通じ、関西の食文化を広く世界に発信する。

イ. 動画「御食国・関西」の制作と YouTube 発信（公益目的事業 1）

古代から平安時代まで、贄（にえ）の貢進国、すなわち皇室や朝廷に海水産物を献上することを許された御食国（淡路島・鳥羽・越前）に因んで、関西の和食文化を深掘りして、YouTube 動画で発信。ケーブルテレビとのコラボレーションにより、好評の「昆布だし文化」、「大阪が生んだ割烹料理」(2 本)、「上方うなぎ文化」に続く動画を本年度 2 本制作し放送する。放送後は当協会ホームページのコンテンツとして動画を掲載。英訳版字幕スーパーへの取り組みも検討する。

ウ. 「天満天神さんの水」のブランディング（公益目的事業 1）

大阪の四大清水と謳われた大阪天満宮の井戸より湧き出る地下水を「天満天神さんの水」としてブランディングし、大阪天満宮、関西大学、商店街や地域と協働し、発信・普及、地域の活性化に貢献する事業を支援する。当協会は、関係する外部ネットワーク連携の結節点の役割を果たし、具体的には企画・広報の助言や調整・情報の提供等を行う。

エ. 「関西釣り文化」のブランディング（公益目的事業 1）

日本の漁具や漁法、漁や釣技は多くが関西発であり、関西の釣り文化を深掘り、釣魚料理を研究することにより、関西のブランド発掘を行う。

また、ケーブルテレビのマンスリー番組「新しいおとなのオフタイム」制作に協力し、その動画を協会のホームページで発信するとともに、誌面・ホームページ等によるメディアミックスの発信を行い、関西釣り文化を地域のブランドとして創出する試みを行う。

3. 関西ブランドの発掘と調査・研究

ア. 「なにわ大坂 100 人選」プロジェクト（公益目的事業 1）

古代から近世までの「なにわ大坂」で活躍した 100 人を選定し、時代背景や現代に受け継がれた関連情報を収集し、蓄積を図る。古代日本の発祥地である「なにわ大坂」に受け継がれてきた伝統や伝承を確認し、知られざる日本のアイデンティティを探る。成果は順次ホームページで発表、報告書の出版を目指す。

実施時期 平成 25 年度～28 年度

イ. ミナミ上町台地調査・研究（公益目的事業 1）

大阪、上町台地の歴史や伝承を探り、伝えられてきた催事に触れ、実地調査を行い、その歴史的役割や大阪のアイデンティティに関する情報を収集する。

実施時期 平成 28 年春から秋にかけて 3 回見学・探訪実施予定

4. 関西ブランドの発信

ア. 「KANSAI*OSAKA 文化力」の発行（公益目的事業 1）

関西・大阪のブランド力の向上を目的として、当協会の取り組みや芸術・学術・技術の三術をはじめ、生活文化、祭事、スポーツなど、さまざまな分野における関西の文化資源や人材を発信するブランド情報誌を発行する。

公立図書館や大学、高校、公的機関、マスコミ等へ広く配布（1 万部）

発行回数 年 3 回

イ. 関西国際空港での映像発信（公益目的事業 1）

関西の四季折々の魅力(景観やお祭り、季節の風物詩など)や、今年度から世界遺産に登録された和食を中心に関西の食の魅力を収めた映像を制作。関西国際空港の税関エリア及び入管エリアで上映し、海外から関西に訪れた観光客に関西の魅力を訴求する。あわせて著作権フリーのライブラリーとして利用拡大を図る。

四季の関西ブランド映像集

『Welcome to KANSAI ～四季の関西・大阪の魅力～』

ウ. ホームページ、SNS による発信（公益目的事業 1）

大阪のさまざまな伝統行事や当協会が主催する芸術文化活動をタイムリーに発信するとともに、今年度は SNS にも注力し、最新ニュースや動

画をタイムリーに発信するとともに、ウェブマガジンを通じてブランド情報をネット上に蓄積する。

また、「メールマガジン」を活用し、協会の事業の取り組みや協会が後援するさまざまなイベントを発信する。

エ. 御堂筋でのバナー展開（収益事業）

当協会が保有する御堂筋や長堀通りの街路灯のバナー取付具を活用し、都市のブランディングに相応しいイベントバナーを掲載し、景観の向上を図る。

5. ネットワークと理解促進

ア. 21cafe（その他事業1）

関西・大阪等で文化創造活動や街づくりに携わる多彩なゲストを招き、話題提供と情報交換をサロン形式で開催する。異分野の参加者が交流し、新しいアイデアやコラボレーションを創出するとともに、マスコミ関係者をはじめ、当協会の人的ネットワークの幅と厚みを拡大し、文化力向上の一助とする。

実施回数 通年（年4回）

イ. 後援・協力（その他事業1）

関西・大阪の文化振興、地域活性化に資する団体、個人、行事について後援（後援名義の使用許可、賞状・楯の授与等）を行い、メールマガジン等で広く活動を紹介する。

ウ. 協会活動への理解促進（その他事業2）

賛助会員向けに発行する「協会だより」や講演会・交流会を行い、事業のPRや協会活動への理解を深める。

エ. 広報活動（公益目的事業1）

当協会の活動を広く理解してもらうために、マスコミ関係者とのリレーションを強化し関西プレスクラブへの参画等の取り組みを行う。

Ⅲ. 伝統と創造

1. コラボレーションによるまちづくり

～オリンピック文化プログラムの推進～

ア. 大阪城フェスティバル 2016（公益目的事業 1）

「大阪の芸術文化の情報発信力の強化」、「大阪の賑わい創出」を目的として大阪城サマーフェスティバル実行委員会に参画し、「オリンピック・パラリンピック文化プログラム」参加の結節点機能を果たすとともに、大阪城周辺で実施されるさまざまなイベントの情報を集約した合同の告知パンフレットを発行して、大阪の魅力発信と観光集客を目指す。

主 催 大阪城サマーフェスティバル実行委員会

（大阪府、大阪市、経済団体等、
（公財）関西・大阪 21 世紀協会（事務局））

実施時期 平成 28 年 7 月～11 月

イ. 大阪城における舞台芸術の創造と発信（公益目的事業 1）

オリンピック文化プログラムの推進を目標に、大阪城を舞台としたスペクタキュラーなコンテンツを制作し、世界に向けた発信を目指す。具体的には、一から新しいものを制作するのではなく、これまで開催してきた西の丸庭園や大手門のステージ、新橋での水上オペラなどの社会的実験を踏まえて、高校生の吹奏楽とダンスのコラボや、上方伝統芸能・文楽とバレエの融合などを磨き上げる。テーマは大阪の伝統を活かした芸能や大阪城にまつわるものとし、大阪や世界で活躍するアーティストの出演により関西のレガシーを活かした芸術の創造と発信を目指す。

主 催 大阪城サマーフェスティバル実行委員会

実施時期 平成 28 年秋期予定

ウ. 平成 OSAKA 天の川伝説 2016（公益目的事業 1）

八軒家浜界限に「いのり星®」を放流し、大川の川面に天の川を描く「平成 OSAKA 天の川伝説」は水都大阪を彩る七夕の風物詩として定着した。事業基盤の強化とリスク管理のために今年度から実行委員会が「（一社）おしてるなにわ」に法人化され、当協会は共催者として事業を推進する。水上安全協会をはじめとした関係者とのコラボレーションをいっそう強化し、当協会は連携の結節点としてまちづくり推進の役割を果たす。

主 催 (一社)おしてるなにわ
共 催 (公財)関西・大阪 21 世紀協会
実施時期 平成 28 年 7 月 7 日

エ. インターナショナル ワークショップ フェスティバル「DOORS」

(公益目的事業 1)

ワンコインで「文化を体験する」楽しさを提供し、市民の創造活動を誘発する International Workshop Festival 実行委員会に参画する。市中に埋もれたアーティストや作家を発掘し、大阪の伝統芸能からポップカルチャー、最新アートなど、ワンコイン (500 円) で体感できる体験型ワークショップを集中開催し、大阪まちおこしの一助とする。昨年度は親子や未就学児童向けの講座も開催し、好評を得た。10 回目を迎える今年度は、堺市内での開催 (予定) を含め、広域展開を試行するとともに、ワークショップのポータルサイトを立ち上げてこれまで蓄積したデータベースと開催ノウハウの活用を図る。

主 催 International Workshop Festival 実行委員会

(大阪市、LLP アートサポート、
(公財)関西・大阪 21 世紀協会)

実施時期 平成 28 年 7 月～8 月

オ. 広域連携支援 / 「北前船寄港地フォーラム」への支援

(公益目的事業 1)

地方創生への貢献を目的とする「北前船寄港地フォーラム」が昨年度に大阪で開催されたことを受けて、今後、西日本での開催に対し、主催地の運営支援を行う。また、「食博 2017」に北前船寄港地からの出展を働きかけるなど、広域での結節機能を果たす。

実施時期 通年

2. 上方文化芸能の振興と無形文化財の保護・育成

上方文化芸能振興事業及び上方伝統行事に、上方文化芸能運営委員会が協賛し、或いは主催者として、当協会の他の諸事業との相乗効果や総合力を発揮するような展開を図る。上方伝統行事については、記録映像をライブラリー化し、協会ホームページで発信する。

- ア. 上方文化芸能振興事業 伝統文化行事の伝承者の育成
 - A. 「日本の文化に親しむ」の公演・講演、シンポジウム等
 - 1) 上方の伝統芸能の開催
 - 2) 上方文化を味わう
 - B. 季刊雑誌「やそしま」の発行
 - C. 上方の文化、芸能の資料収集等

イ. 上方伝統行事への共催・協賛

- A. 今宮戎神社宝恵駕行事[無形民俗文化財]（平成29年1月10日）協賛
- B. 住吉大社御田植神事[重要無形民俗文化財]（平成28年6月14日）共催

IV. その他

中期計画の策定

外部有識者を交え、当協会の中期計画(平成29年度から5か年)を策定する。